



憧れの野球選手と楽しみながら交流

帆足和幸選手による ふれあい教室

12.23
mon

帆足和幸選手(福岡ソフトバンクホークス、花立出身)によるふれあい教室が市野球場で行われ、市内13の少年野球チーム87人が参加しました。

教室には、野上亮磨選手、大石達也選手、岳野竜也選手(3選手ともに埼玉西部ライオンズ)も参加し、トレーニング、キャッチボール、ドッチビーなどを一緒に楽しみながら、交流を深めました。



日韓交流基金高円宮賞受賞

車椅子レクダンス普及会

12.26
thu

NPO法人車椅子レクダンス普及会理事長の黒木実馬さん(写真左)が、日韓の教育・文化・スポーツ分野での交流に尽力し、顕著な成果を挙げた個人、団体を顕彰する高円宮記念日韓交流基金の高円宮賞受賞を、平安市長に報告しました。

黒木さんは平成7年に車椅子利用者と非利用者がペアで踊る「車椅子レクダンス」を考案。ボランティアの指導者の育成を進め、平成14年からは韓国の指導者育成にも取り組まれています。現在では、全国で8,700人の会員に楽しまれています。

黒木さんは、「障害者のほか、高齢者の介護予防としても、車椅子レクダンスを広めていきたい」と抱負を話しました。

自分で打った“そば”の味は格別

そば打ち体験教室

12.25
wed

NPO法人小郡市の歴史を守る会が、日本の伝統的な食材のそばを粉から作り、古の食文化を体験することを目的に、埋蔵文化財調査センターで開催し、22人が参加しました。

「武蔵そば」の職人が職人技を披露した後、班ごとに分かれ、そば打ちを体験。そばの香りが漂うなか、おいしいそばを打つために打ち方や注意点を教わりながら、生地をこねて伸ばして切るという一連の作業を皆で力を合わせて行いました。

最後に自分が打ったそばを試食。自分で打ったそばの味は格別おいしいものでした。



楽しく多文化交流

フレンドシップ交流会

12.14
sat

外国人同士が楽しく交流し、情報交換してもらおうと、小郡市や近郊で生活している外国人を対象に小郡ロータリークラブ、国際ソロプチミスト小郡、おごおり国際交流協会、小郡市が共同で開催する交流会が生涯学習センターで行われました。

交流会は16回目を迎え、日本での生活などを、4人の外国人が流暢な日本語でスピーチをしたほか、日本舞踊や和太鼓、ひょっとこ踊りなどの日本文化に触れる機会もありました。参加した外国人は「たくさんの友だちと話すことができて楽しかった」と笑顔で話しました。

また、同会場でのフィリピン台風災害の救援・復興の募金協力で救援金21,008円が集まりました。



救援金は市を通じ、日本赤十字社に寄附されます